

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

学習指導要領では、特別活動を、その目標のなかに、「望ましい集団活動」という表現を用いることによって、集団活動を持質として規定している。これは、児童・生徒に対して集団の一員としての自覚を深めさせるとともに、社会性をはぐくむことを目指しているからである。こうした理解を深めるために、学校における各活動について取り上げるとともに、実践的指導力を身につけるための課題について考察する。

なお以上を含めて、本講義では、担当者の持つ学校教育現場の経験的な内容についても講義する。

授業計画

第 1 回	特別活動とは
第 2 回	特別活動の目標と課題について
第 3 回	学級活動とは
第 4 回	児童会活動とは
第 5 回	クラブ活動とは
第 6 回	学校行事とは
第 7 回	奉仕活動など生活経験の拡大について
第 8 回	特別活動と生徒指導
第 9 回	特別活動の年間計画及び指導案の創り方
第 10 回	学校教育における集団活動について
第 11 回	課題発表① どんな活動があるか調査したことの報告 例えは遠足について
第 12 回	課題発表② どんな活動があるか調査したことの報告 例えは運動会について
第 13 回	課題発表③ どんな活動があるか調査したことの報告 例えは児童会について
第 14 回	調査報告から見える、集団活動の成果と課題
第 15 回	体験しよう 清掃活動とその評価
第 16 回	定期試験

到達目標

特別活動とは、「望ましい集団活動」を通して、生徒の発達と「集団の一員としてよりよい生活や人間関係」構築のための能力を養うことにある。この意義を理解し、実践的指導とは何かを考察し、積極的活動を行なえるような態度を養う。

履修上の注意

集団活動の体験学習として、遠足や修学旅行の計画を立て実際に活動を行います。このため、学外活動を行いますので、必ず参加すること。

予習・復習

特に予習は求めませんが、スポーツ等のテレビ観戦を見た時など、クラス応援だったらどんなことができるかなど、考える習慣を付けてください。

評価方法

授業終了時に行なう試験とレポート及び授業への参加貢献度(課題を提言するなど)を総合して評価する。
上記の比率はおよそ、試験5:レポート及び参加貢献度5

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別活動編』